

1. 今年のかおりのテーマ

個別ケアをさらに深めよう そして・・・利用者様にも、職員にも個別ケアを！

1 人の利用者・患者さんにその人の状況を考慮して個別にかかわる。

みんなの意見を出し合い、チームでかかわる。

押し付け・一律ケアを変革し、他の組織にも影響を与えよう。

また、職員もケアの種別ごとに得意苦手あって当然。家庭も環境もみんな違う。

できる、できないに着目するのではなく、「不安だ」「自信ない」素直な気持ちをチーム内で伝えられる関係を築こう置いてきぼりになっている、利用者や職員はいませんか？みんなの足並みそろっていますか？

という投げかけで始まった今年の春。それから約半年がたちました。

この半年間を振り返り報告します。

本来ならば、運営推進会議にて直接ご報告したかったのですが、コロナクラスター発生直後の医療法人きらりですので、書面開催とさせていただきます。

2. 感染対策を駆使したイベント運営の報告

【4 月桜ドライブ】

桜が満開の時期は、ほぼ毎日のように散歩やドライブに出かけました。



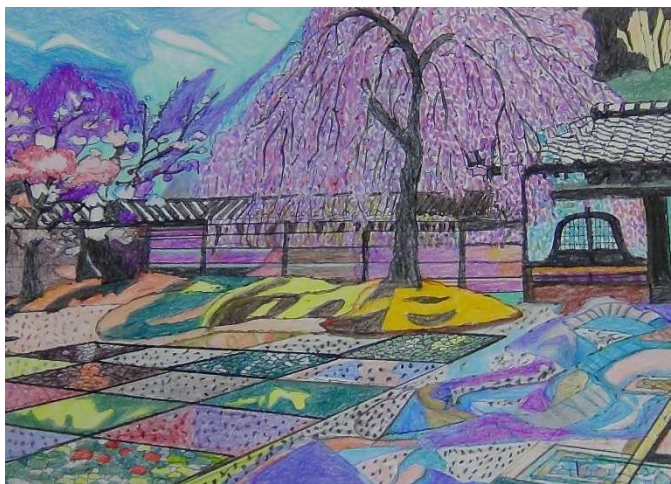
【双海外出】 久しぶりの双海のソフトクリーム🍦



【内子涅槃像外出】 でっかい涅槃像。元気になーれ♪



室内活動も活発です
【かおり塗り絵部】



【麻雀愛好会】



【かおり体操部】

毎日、こんな風に体操を頑張っています。午前 11 時から、午後 3 時半からはかおりの体操タイム！



他にも色々楽しいことを行いました。詳細は、機関紙「きらり通信」(令和 4 年 11 月 1 日発行)をお楽しみください。

3. コロナクラスター騒動について

重度認知症デイケアでは、2回のコロナクラスター騒動が起きました。

結果、デイの縮小営業や自粛休業といった事態を招き、皆様に大変ご迷惑をおかけしました。

2022年4月 デイケアクラスター1回目

1人目の陽性者発覚日 4月26日

利用者10人、職員8人

合計18人の陽性者となる。

デイケア休業：4/27-5/3

5/4・5は縮小営業を行い、5/6～完全復活。

休業中は、盛次ドクターの往診と協力機関のヘルパーステーション日和で陽性者訪問を行った。

濃厚接触となる職員が同じく濃厚接触で自宅待機となる利用者宅を訪問し必要な支援を行うことで対処して乗り切った。

2022年8月 デイケアクラスター2回目

1人目の陽性者発覚日 8月20日

利用者16人、職員12人 合計28人の陽性者。

デイケア休業：8/22-31、9/1～完全復活。

全職員が陽性となり、9割の利用者が陽性者となった。

1割の濃厚接触者の利用者に対しては、既にコロナに感染し、復帰直後の職員が食事の配達や必要な支援を行うための訪問を行い、相談員がCMとサービスの調整をした。陽性利用者については、ヘルパーステーション日和さんと連携し、陽性職員も自身の体調と戦いながら訪問によるサービスを提供。必要な処置やケアが行えるよう訪問をする。時としては重症化しそうな利用者連れてきて、点滴などの対応を行った。万全に感染対策をしても、医療行為を行う診療所職員にも感染が広がったが、短期間で感染者の拡大を終了させ、9月1日からは1号・診療所の営業を開始。9月5日からは全利用者が利用再開となった。

第1回クラスター期は、幸いにも2次感染は職員家族1名と利用者の夫が一人だけだった。100歳近い人たちもいたが、重症化することはなかった。その理由として考えられることは、寝たきりもしくは寝たきりに近い人で感染した人がいなかったことだと思われる。デイ休業中も手厚い介護をご家族や日和さんが実施してくれた点が大きい。

しかし、第2回クラスター期は、違った。まず、感染の拡大が爆発的だった。8/20陽性者発覚後、すぐに全員自宅待機としたが、既に感染は広がっていた。

重症化した人の共通点は次の通り。

- 90歳以上
- 低体重で虚弱
- 誤嚥性肺炎
- 嘔吐
- 寝たきり状態

そして必要なことは「コロナの治療」ではなく、「誤嚥性肺炎の治療」であることが分かった。

今回の経験を経て・・・ポイントを次のようにまとめる。

- コロナ急性期にあっては、上記のような特徴を持つ人たちには絶食、輸液、抗菌剤、口腔ケア、頸部屈曲、座位その他動かすことで乗り切ることができる。
- コロナの特徴として、痰が喉にへばりついた感じがしばらく残る。後遺症だろう。そのため、しばらく飲み込み難い状況が続き、それをそのままにしておくと、咽頭貯留物のため、咽頭反射が低下し、再び誤嚥性肺炎を起こしてしまう。必要に応じて、吸引をほぼひと月は続けた方がいいということも分かった。

4. 下半期の運営推進会議のお知らせ

日程:2023年2月16日木曜日 18時~19時

場所:デイサービスセンターかおり

テーマ:「終末期からの復帰 ~入院・入所による廃用からの復活~」

食べれない人の復活、絶食しかない！と診断された方がどうやってまた食事がとれるようになったか、そのためにはかおりでどんな取り組みをしているか報告をさせて下さい。

コロナに負けるな！みんなで元気になろう！2022年！！

そのために・・・かおりでは2022年7月に「口腔ケア」をテーマに勉強会を開催しました。



最後に・・・

コロナクラスターを経験して強く思う。

「食べる」ということは本当に素晴らしいこと。

「食べる」ことで笑顔が生まれ、生きる気力・活力が生まれる。

かおりでは常に「美味しく食べる」ことを追求してきた。

そして今回、コロナクラスターを経験し、食べる事の大切さ、食べられるパワーのすばらしさ、そして何よりもみんなで笑顔で過ごすためには食べる事が大切だ、と痛感した。

今年の年度末も料理長のパフォーマンス楽しみにしていただきたい。

